

令和4年度 第2回寝屋川市環境保全審議会 会議録（要旨）

日時 令和4年10月31日（月）9:30から12:00まで

場所 大阪ガスNEXT21（大阪市天王寺区）

出席 山本会長、鯨坂副会長、尾崎委員、上原委員、大石委員、清水委員、
玉川委員、当麻委員、西尾委員、古川委員、丸山委員、水井委員、
倉恒委員、谷口委員

1. はじめに

（あいさつ）

2. 次第1 NEXT21 視察・見学

（大阪ガスの担当者からの施設案内）

3. 次第2 令和4年度環境部の取り組みについて（環境リーダー養成講座の開催等）

（資料1に基づき、事務局より説明）

（副会長）

報告もかねて説明します。1回目については、まず市から環境基本計画について子ども向けの紹介をしてもらいました。さらにA3サイズの子ども向け計画を持ちながら、すごろくに臨んでもらいました。実際にサイコロも木で作り、それを使いながら、基本計画を学ぶということと、高専はモノづくりの学校なので、実際にソーラーカーを作り配線が逆についてると後ろに進むことや、光が当たっていないと止まってしまうことを、実際にモノをつくりながら体験してもらいます。基本計画の内容と体験したことを踏まえて1回目は終了しました。

2回目の時には、1回目でやったすごろくのようなことをやるよと伝え、大阪府が発行しているハンドブック、気候変動にどう適応してすれば良いかや、緩和の条件はどうだろうかといった内容について書いてある「おおさか気候変動適応ハンドブック」について、全部読んでくるのは大変なので、私の方で読んでくる場所を伝えて、各自で付箋を貼る作業を1回目の時に行い、ここから次回すごろくが出るよと伝えて事前学習をしてもらいました。

2回目は、事前学習として伝えたハンドブックに書いてある内容をもとに、すごろくのパート2をやってもらいました。このすごろくはゴールの前にスタートに戻るマスがあり、子どもたちは何度も戻ってしまうのですが、それが子どもたちは大喜びで、戻って同じマスに止まるとすぐに答えてくれて、初めてのマスに止まるとまた調べて、自分でわからないとすぐ友達が教えてくれて、

そういったことが生まれたので、これは非常に効果があるなと思いました。たまたまエコすごろくということでやりましたが、普段の授業でも使えるなと思いました。やってみて子どもたちも楽しみながら環境について意識してくれる。これが良かったなと思います。

寄せ書きも、子どもたちはいろいろイラストなども交えて描いてくれて、エコすごろくも書いてくれています。面白いなと思ったのが「脱炭素社会に向けてCO₂の排出を減らすために出来ることがたくさんあると知りました。」と書いてくれています。小学生であってもこういったことを学んで意識し、アウトプットされ、みんなに共有してもらうことができたというのが大きいなと思います。これを継続してできたらいいなと思います。

今回は2回に分けて開催しましたが、それを1回完結にして、回数を何回かにし、違う子どもたちに来てもらう、もしくは私が小学校に出張して授業もやるといった展開が出来たらいいなと思います。

4. 次第3 各委員の取組報告等

(会長)

いつも事務局からの説明に対し、各委員に意見を求めるばかりになってしまったので、今回は各委員からひと言ずつ、最近どのような事をされているか紹介していただきたいと思います。

(副会長)

浸水歩行体験をやっており、これは水防活動として昨今ゲリラ豪雨による川の氾濫や道路が冠水したとき、道路を歩くのは危ないので、垂直避難するか、そうなる前に避難する必要性について身をもって体験してもらうために開催しています。組み立て式でプールを作るキットを作成し、それを小学校やイベントなどに出展して、実際に棒を持って歩いてもらいます。参加者には水の中を歩くことは危険で、障害物があれば乗り越えるのではなく避けて進むのですが、それでも危険であることを体験してもらっています。

つい最近、イズミヤ寝屋川店にて市民の方に体験してもらいました。今後も声があればキットの出展ができますのでよろしくお願いします。

(委員)

河川に投棄されたごみの回収などの河川の環境保全活動を25年前から取り組んでいます。また、大阪府で生駒山系グリーンベルト構想があり、山の地権者が山に入らず荒れている問題について考えるワークショップに参加しました。山や竹の専門家に色々なことを教わりながら、17年前にまちづくりクラブを発足し、樹木エリアから竹藪になってしまったところを、竹林エリアと樹木エ

リアに振り分けて整備するなど里山を守る活動をしています。山と川と海のつながりの活動をしています。

(会長)

保津川のラフティングでゴミ拾いのような活動をしており、保津川的生活用水からGPSを搭載したプラスチック製ボトルを流すと、2週間後には淀川を下って西宮の湾に流れていることがわかりました。そういったこともあり、保津川で観光と環境に繋がる取組をしています。

その他に、自動車会社と連携して再生可能エネルギーで充電した電気自動車から供給された電気でイルミネーションを照らすイベントを3年行っています。

(委員)

情報提供が2点あり、1点目は大阪府が「大阪府生物多様性地域戦略」を策定しました。現在の環境問題のトレンドは気候変動ですが、次の課題は生物多様性と考えられています。

もう1点はクビアカツヤカミキリが桜に被害を与えております。大阪では大阪市や八尾市付近で確認されているとともに、高槻市でも報告があることから、寝屋川市も他人事ではなく、いずれ生息が見られるかもしれません。

(委員)

グループとして、私たち自身のゼロカーボン化はもちろんのこと社会全体のゼロカーボンにも取り組んでいます。そのために、産業、家庭、運輸等さまざまな分野でお客さまや自治体などあらゆるステークホルダーの皆さまと力をあわせて進めていきたいと考えています。

(委員)

今年の4月から委員を拝命しました。前回は新型コロナウイルス感染症の関係で出席できず本日が初めての出席となります。以前は人手不足からイベントの参加を見合わせており、6月の環境フェアは出展できませんでしたが、体制を整えましたので今後は参加させていただきます。

グループ会社では次世代教育として防災や食育、環境教育を行っており、環境教育では小学校高学年を対象に地球温暖化に関する知識を習得していただいています。メニューの一つ、くらし見直し隊ではゲーム形式でアクティブラーニングの要素を取り入れて行っています。副会長が行っている取組についてなにか協力できるのではと感じました。

(委員)

会社として、5月から10月末までクールビズに取り組み、空調の温度設定を高めにすることや、窓際に野菜を植えて庇を低くすることに取り組み、小学校に出前授業にいき、農業について学んでもらうことや、田んぼにごみを捨てたらダメだということをお伝えしました。

(委員)

NEXT21の冊子の92ページの301住戸「ファクター4の家」で省エネ実験を4年間行いました。当時大阪ガスの時に、ライフスタイルを変えればどれだけ省エネ出来るか実験していました。

家庭の省エネ・ゼロカーボンのポイントのリーフレットを作成し、家庭でどんな対策をすればどれくらい電気代やCO₂が削減されるかといった内容になっていますので、また参考にしてください。

奈良県地球温暖化防止活動推進センターは、全国に設置されている地球温暖化防止活動推進センターの一つで、これまで市民向けに温暖化対策の普及啓発をやっていました。温対法が改正され、地球温暖化防止活動推進センターも事業者向けの支援を行うことになり、今年度初めて経産省、環境省、奈良県の協力を得て、企業の脱炭素経営支援セミナーを開催し、40名の方に集まっていたきました。大阪府も今後事業者向けの支援に取り組んでいくと思うので、奈良県も負けないように取り組んでいきます。

(委員)

市政協力委員ですが普段は農業をやっており、今取り組んでいることは大阪府の水・みどり室と水利組合と周辺自治会とともに、この地区の農空間を守る取組を今年から始めており、来年度からの事業開始に向けて準備をしています。

れんげをさらに交野市の地域にも広げていきたいと思います。大雨の時に田んぼは貯水地になり、そういった意味もあるので地域の農空間を守ってほしいと取り組んでいます。

(委員)

消費者協会での環境関連の取組として、年に1回粉せっけんを使いましょうというキャンペーンで配布なども行っていましたが、この3年程は新型コロナで活動は中止しています。

最近の活動として、年に2回手作りの味噌づくりを一般の方も集めて行っています。

(委員)

保護司をしており、面接や面会などに明け暮れております。家では家族の介護を行っているため、家を建てる予定はないのですが、今日の見学はとても参

考になりました。主婦としてはフードロスの削減に取り組み、材料を余らすことや、捨てることのないように頑張っています。今日はとても来たかったところなので見学はとても嬉しく参加しました。住宅展示場の進んだ形を見させてもらいました。有事の際にいかに自立して生活するか考えなければいけないなと感じています。

(委員)

商団連として、ごみの減量や資源ごみの回収などに取り組んでいます。小売業においてはレジ袋を有料化しエコバックに変えてもらうことや、ペットボトルやトレーの回収などに取り組んでいます。

現在は、わくわく商品券の事業に取り組んでおり、はがきでの申込だったのを、新たにLINEでの申込にすることで、紙の減量に繋がりました。1万8千件の応募があり、3億円分の商品券を発行しました。

(委員)

娘が森の幼稚園に参加し、竹を切ってそこにご飯を入れてかまどで炊いたり、川遊びなどを行うことで、自然を守りたいという気持ちになってもらいたいと思っています。

個人的にはごみがあまり減らないので、ごみ減量コンテストでいいものがあれば生活に取り入れたいと思います。

(委員)

ごみ減量マイスターとして環境フェアなどで来場者にごみの減量やごみの処分にかかる費用について説明しました。市民の協力が大事だと感じています。また5回連続のごみ減量セミナーを聞き、ごみの減量について伝えていければと思います。最後に今日の見学がとてもよかったです。徳島県上勝町が素晴らしいごみの分別や減量をしているので、実費を負担してもいいので見学会などが出来ればと思いました。

(会長)

時間も短いなかでしたが、それぞれの委員の積極的な活動についてシェア出来たと思います。

5. 次第4 その他

(事務局より説明)

(会長)

これを持ちまして令和4年度第2回寝屋川市環境保全審議会を終わります。

以上